

# 出品者に聞く

今回話を伺ったのは、にんにくの學山堂の堂山さんです。ふるさと納税に出品し始めて、3年目。事業者としてふるさと納税と関わってみてどう感じているか伺いました。

## Q 始めたきっかけは？

「最初は趣味で作り始めて、思いのほか良くできたので、直売所から始めました。また、直売所以外の販売方法も考えていて、その時にふるさと納税の事業者募集をしているということを知って、まずは役場に相談に行ってみたのがきっかけです」

Q ふるさと納税を始めてみてどうでしたか？

「最初は、お試しという感じで始めましたが、登録するだけなので案外簡単でした。商品の写真なども業者の方が取りに来てくれるので助かります。」



お店に卸すのには、仲買を通さないといけなかったり、商品の規定なんかもあったりしますが、そういうのもないので良いですね」

## Q 大変なところはありますか？

「箱などを準備したりしないといけない部分があります。でも伝票は役場が作ってくれますのでそれに合わせて準備するだけなので助かってます」

## Q これからの目標は？

「毎年色々なことに挑戦しています。最初はにんにくと黒にんにくの2種類だけでしたが、今はジャンボにんにくなど種類や組み合わせを増やして商品としては8種類出しています。今年から玉ねぎも始めました。」

ふるさと納税は商品を売るというよりは、知ってもらうためのツールだと思っているので、ふるさと納税を通してもっとお客さんに商品を知ってもらって、また、お客さんのニーズも研究して商品の種類を増やしていきたいと考えています。」



▲町が依頼している業者がPR用の写真を撮影に来ます

## 今回話を伺った方 堂山 学さん

警察官を退官して現在交通安全協会で地域の安全のために働く傍ら、「にんにくの學山堂」としてにんにくやたまねぎ作りに奮闘中



ふるさと納税の出品を足掛けに様々なことにチャレンジしている堂山さん。

肝付町では、堂山さんのように、まずやってみたい、と言ってもらえる方を大募集しています。

興味のある方はぜひ、肝付町役場企画調整課までご連絡ください。